

がん相談支援センターだより



小児がん親の会「げんきの会」クリスマス会に参加しました！

クリスマスはいくつになっても12月のお楽しみです。昨年も日大板橋病院の小児科小児がん親の会である「げんきの会」のクリスマス会が12月9日に行われました。

病院からは小児科 陳医師、古屋ソーシャルワーカーが参加しました。陳医師のご挨拶からクリスマス会はスタート、今年も盛り沢山の出し物でした。初登場の優雅なフラダンスから始まり、超絶技巧の打楽器の演奏を見せてくださった楽器アンサンブルのみなさん、昨年に続いて素敵なお演奏でした。今年も医学部と看護学校の学生さんのダンスサークル「DynaMiC」によるダンスパフォーマンスが登場。ヒップホップ、モダンにはじまり、バレエのようなすてきな踊りを見せてくれました。最後に子どもたちと一緒にという時には子どもたちのアイドルであるアンパンマンが登場。フロアから大きな歓声が上がりました。学生さんのダンスの後はミュージカルのナンバーをしっとり聴かせてくださるグループ。ボランティアの楽しいパフォーマンスの後はゲームを。可愛らしいお土産をもらい皆ご機嫌でした。



最後に全員で記念撮影、来年も楽しいクリスマス会を迎えたいとの思いで会は終わりました。相談支援センターは今後もこのような患者さんやご家族の会のお手伝いに努めていきます。暖かい春を迎えた4月の末にはゴールドリボンウォーキングもあります。どうぞ、ぜひ皆さんも一緒に歩きましょう！



がん患者セミナー&カフェを開催しました



雪の残る1月26日(金)に、平成29年度第4回目のがん患者セミナー&カフェを開催しました。今年には東京に4年ぶりの大雪！その後も厳しい寒さが続きなかなか雪が溶けきらない、足元の悪い中でしたが、院内・院外からの患者さん11名にご参加いただきました。

今回は初めてのテーマ「術後のインナー(下着)選びのポイント」。講師にKEA工房・秋山様をお招きしセミナーを行いました。講義の中では術後の経過に合わせた下着を実際に見たり、触ったりすることができ、参加者の皆さんも話が弾んでいました。今回のテーマは、「病院で治療や手術の説明は聞いたが、実際術後の下着をどうすればいいか聞く機会がなかった。自分も手術のことで頭がいっぱいで、術後に下着をどうしたらいいかわからず困った、なので下着の説明会があるといい！」という患者さんの声から企画しました。内容から女性の方が多く参加され、参加者からは「同じ境遇の方々と色々お話や、情報交換ができて本当によかった」、「実物を見てとてもためになった」との感想をいただき、とても好評でした。このセミナーは日本大学本部広報課より取材を受けました。



セミナーの様子

次回 4月27日(金)「抗がん剤治療の副作用について」
～治療と上手に付き合うために。副作用対策と、生活の工夫～



講師：日本大学板橋病院 がん化学療法認定看護師

次回ワーキング・サポート(就労支援)3月日程

1回目:平成30年3月6日(火)、2回目:同13日(火)、3回目:同20日(火)の全3回コースです。

参加費は無料。お申し込みは当センターまで。詳細はパンフレットをご参照ください。

